

国士舘大学大学院入学試験問題用紙

修士課程

研究科	専攻	試験科目	参考書等持込
政治学研究科	政治学専攻	アジア地域	不可(留学生のみ語学辞書可)

次の設問から、一つを選んで論述しなさい。

1. 2025年10月26日、マレーシアにおいて東南アジア諸国連合(ASEAN)の首脳会談が開催され、東ティモールの加盟が正式に認められた。これにより、東南アジアにある全11ヶ国が加盟したことになる。1967年に設立されたASEANとは、そもそもどのような国家連合として組織されたのか、その歴史的背景を説明したうえで、現在のASEANが抱える／乗り越えようとしている課題について論じよ。
2. 2025年現在、東南アジアが直面する問題にはどのようなものがあるのか論じよ。東南アジア全体を対象として論じてもよいし、東南アジアの中の一国、または複数国を対象として論じてもよいこととする。その際、東南アジアだけで完結する問題ではなく、他地域(東アジアや欧米など)と関連する問題を取り上げてよい。(例：東南アジアにおける少子高齢化問題、南シナ海における領海問題など)

令和8年度 国士舘大学大学院入学試験

出題の意図と採点のポイント

研究科名	政治学研究科 政治学専攻
試験期別	Ⅱ期
試験区分	一般、社会人、留学生、学内選考
試験科目名	アジア地域

■出題の意図

出題者が担当するのは「アジア地域」研究であるが、専門とするのは東南アジア（特にタイ）である。出願する学生への適切な指導をするためには、専門性が合致する必要がある。そのため、東南アジアに関する設問を用意した。

■採点のポイント

出願者が、東南アジアに関する関心と最低限の知識を持っているかどうかを問う問題である。出題1については、東南アジアだけにとどまらない、基本的な世界の歴史と時事に関する事柄を問うている。出題2についても、現在進行中の出来事について出願者がアンテナをどの程度張れているかどうかを見極めることができる問題である。出願者が東南アジアの歴史を世界史のなかでどのように把握できているのか、また、東南アジアの特定の国々が抱える問題をどのように捉えているのかがポイントになる。